

# 石巻専修大学

http://www.senshu-u.ac.jp/shinomaki/

## 創部1年目で 杜の都駅伝出場

創部1年目で杜の都駅伝へ  
女子競走部が9月23日、岩手  
県北上総合運動公園陸上競技場  
で行われた第33回全日本大学女  
子駅伝対校選手権大会(杜の都  
駅伝)10月25日(仙台市)の東  
北地区予選会に出場。1時間47  
分59秒99(5000m)×6人の  
合計タイム)で2位となり、出  
場を決めた。予選会には東北4  
県から、オープン参加4校を含  
む10校が出場。3年ぶりに2校  
となった本戦出場権を争った。

## 女子競走部快挙



杜の都駅伝出場を決めた選手たち

代表電話番号  
**0225  
(22)7711**  
広報専用FAX  
**0225  
(22)7809**

女子競走部は、部員7人のうち1人をけがで欠け、厳しい状況でレースを迎えたが、川崎美祈さんが自己ベストを更新する走りを見せ、17分26秒09でチームトップとなる総合7位でゴール。漆戸雛さんが8位、原田詠麻さんが11位と続くなど、全員が力を出し切った。

### 【本戦登録選手】

- ▽寺牛若菜さん(経営1)
- ▽埼玉真飯能高
- ▽原田詠麻さん(経営1)
- ▽静岡県静岡北高
- ▽牧野あやさん(経営1)
- ▽岩手県北上翔南高
- ▽漆戸雛さん(人間1)
- ▽青森県八戸学院光星高
- ▽川崎美祈さん(人間1)
- ▽山形県山形城北高
- ▽高橋七海さん(人間1)
- ▽山形県九里学園高
- ▽千葉悠里奈さん(人間1)
- ▽宮城県常盤木学園高

### 専大生田キャンパスで特別研修



植村教授の問いかけに学生たちは積極的に発言

### 人間文化学科 1年次生17人

電子書籍を通して激しい時代の変化を考え、博物館の展示から歴史と向き合う姿勢を感じ取る。人間学部人間文化学科の特別研修が9月6日から8日まで専修大学生田キャンパス(神奈川県川崎市)で行われ、1年

### 学生5人が訪問

米・メーコン大と交流

東日本大震災の石巻で命を落としたティラー・アンダーソンさんの母校ランドルフ・メーコン大学(米国バージニア州)を、5人の学生が初めて訪問した。関口駿輔経営学部准教授に引率された派遣学生たちは9月6日から18日まで米国に滞在し、同大やバージニア・モンテヴェルデ大学で講義や交流イベントに参加。ランドルフ・メーコン大



メーコン大学で学生と交流する学生たち

10月6日には、学生会主催の壮行会が行われた。大一番に臨む女子競走部を坂田隆学長が激励。学生の代表から部員たちに花束が贈呈された。キャプテンの原田さんが「一致団結して、一つでも上の順位でたすきをつなげるよう、力いっぱい走り抜きましょう」と激励の言葉を述べた。

10月11日に行われた「がんばろう東北! 松島ハーフマラソン大会」の10名女子A(39歳以下)に川崎美祈さんが出場。雨の中を快走し、36分45秒で1位となった。

「ナリズム学科の植村八潮教授(出版学)と、人間科学部社会学科の嶋根克己教授(社会学)の特別講義に臨んだ。電子書籍の普及に携わる植村教授は「本の未来を解説。『10年後の米国の大学生の65%は、今は存在していない職業に就く』という米研究者の予測を紹介し『新しいことに取り組むセンスを鍛えよう』と励ました。戦争にかかわる博物館

の展示を取り上げた嶋根教授は第二次大戦中、ユダヤ人をドイツに移送した事実をフランスが歴史に刻もうと努めていることを「残そうと強く意識しなければ記憶は拡散してしまう」と解説した。学生は真剣に聞き入り、「点字は電子書籍が普及するとうなるのか」と質問し、意見を発表していた。鹿野茜さん(宮城県聖ウルスラ学院英智高)は「新しい視点で考えるきっかけになった」と目を輝かせていた。講義終了後、佐藤ゆりかさん(宮城県石巻商業高)、金子由芽さん(宮城県不登校児童の支援活動)をしての奈良さんは「子どもの心の問題が東京では知られていない。伝えていかなければ」と決意を新たにしていた。最終日には専大相撲部を訪問し、迫力ある稽古と特製キムチちゃんこに歓声を上げた。

### 武部 全国大会出場かけ 硬野 地区代表決定戦へ

硬式野球部が南東北大学秋季リーグ戦で2位となり、全国大会である明治神宮野球大会の出場権をかけた東北地区大学野球代表決定戦に挑む。同リーグ戦は7勝3敗

で東日本国際大学と勝率を並び、10月11日に行われた優勝決定戦に臨んだが惜しくも0-3で敗れ、10季ぶりの優勝を逃した。

今季は只野善昭(経営3・宮城県柴田高)、押野弘嗣(経営1・山形県天童高)を中心にチーム

防御率1.74と、投手陣が抜群の安定感を発揮した。投手では、3割4分3厘の高打率をマークした小野侑宏(経営2・宮城県聖和学園高)が優秀選手を受賞。ベストナインには二塁手の小野と、指名打者の内海航(経営3・宮城県東北高)が選出された。

酒井健志監督は「リーグ戦では1試合ごとに成長を期待した。地区代表決定戦では自分たちの力がどこまで通用するか、挑戦者として思いきり戦いたい」と述べた。

3度目の全国大会出場を目指す硬式野球部の活躍に期待だ。

長を見せてくれた。地区代表決定戦では自分たちの力がどこまで通用するか、挑戦者として思いきり戦いたい」と述べた。

経営学部・石原慎士ゼミが、鳥取県境港市のNPO法人「元気みなと」と連携し「カニだしライメン」を開発した。9月11、12日には境港市で、同17、21日には東京都内で家庭用チルド商品(2

食入り税込み500円)の試験販売が行われ、ゼミ生も駆け付けて販売やPRに努めた。連日完売と好評だった。石原ゼミがこれまでに開発した「サバだしライメン」は累計15万食(2015年6月まで)を売り上げる人気商品になっている。境港がカニの水揚げ日本一であることから、活用されていなかったベニズワイガニのゆで汁に着目。ゆで汁エキスを使ったしょうゆベース



境港市での試験販売

の試験販売が行われ、ゼミ生も駆け付けて販売やPRに努めた。連日完売と好評だった。

の試験販売が行われ、ゼミ生も駆け付けて販売やPRに努めた。連日完売と好評だった。